

希望を語る

2000年8月発足

19年の歴史を持つ患者会“希望を語る会”ニュースレター



希望を語る会事務局:健康増進クリニック

TEL03-3237-1777 Fax03-3237-1778

www.kenkou-zoushin.com info@kenkou-zoushin.com

歴史から疫病を学ぶ

院長 水上 治

私は、疫病は闘うものではないと思います。

まず歴史から疫病を学ぶ必要があります。手元にある富士川游著「日本疾病史」を見ると、6世紀から日本は天然痘、麻疹、赤痢、流感など、疫病に苦しんできたことがわかります。622年聖徳太子が疫病で妃や母と共に倒れたために、回復の祈りを込めて国宝の釈迦三尊像が創られました。日本人は疫病になすすべなく、神仏に祈ることぐらいしかできませんでした。そして闘えない疫病を受け入れ、何とか共存しようと、精一杯折り合いをつけて生き抜いてきたのです。日本の美術や和歌、音楽や祭りなどにこの気持ちが込められています。京都の祇園祭も疫病神からの守りが祈願され、美しさが希求されています。暗ければ暗いほど光を求め、過去の日本人は疫病に対しても、支え合いながら、見事に心のケアをしてきたのです。

この本の解説に、尊敬する小児科医の松田道雄がこう書いています。「読者は、私たち日本人の祖先が、戦乱や天災とならんで、住民の生活をおびやかした疫病と、どんなに絶望的な抵抗をくりかえしてきたかを感じることができる。日本の文化は、この苦悩を通じて作りあげてこられたのである。」

日本の文化は、弱者の辛い心情をも受け入れて練られてきた、極めて分厚い文化です。そこに本居宣長が言う「もののあわれ」があります。

コロナ禍は我々にとって大いなる試練ですが、私は「この危機をむだにするな！」と強調したいのです。英語で言うと、Never waste a good crisis! です。

私は日本人です。歴史から学んでいるので、疫病には全く動揺していません。この逆境を素直に受け入れ、今こそエネルギーを蓄え、次の活路を必ず見つけ、コロナ後の新たな世界を、皆さんと一緒に創っていきましょう！

プレゼント、なにがいい？



菊地明美さま

私の誕生日が数日後にせまったある日のこと。

「もうすぐ誕生日だな～」と呟くと、子ども達がぎくりとした顔をした。案の定、忘れていたらしい。それからことあるごとに、「プレゼントなにがいいの？」ときいてくるようになった。何がよいときかれても、子どもにも買えそうな物でちょっと欲しいなと思っていた物をひねり出すのもなかなか難しい。強いて言えばエプロンだったが、値段もデザインも様々で、中学2年生の息子が選ぶのは至難の業であろうし、小学5年生の娘が買うには値段が心配である。

息子は具体的な指示が欲しいらしく何度もきいてくるので、「入浴剤」と希望を出した。特に欲しくはないがあらうれしい物、を考えてたどり着いた結論だ。娘のほうは「秘密だからね！」と自分で選ぶ気満々である。

さて誕生日当日。息子はおもむろに、デパートに店舗があるおしゃれな雑貨店の紙袋を差し出した。中には綺麗にラッピングされた三個の入浴剤が入っている。柚子の形をした「柚子湯」、りんごの包装紙に包まれた「りんご湯」、スーパーボールのような形の「ラズベリー湯」。

正直、とても驚いた。てっきりドラッグストアか何かでよりどり何百円、というようなものを渡されるのだらうと思っていたら、期待をはるかに上回る「ちゃんとしたプレゼント」ではないの！「なんかさあ、何も言わなくても店員さんがプレゼント用にしてくれたんだよね」と得意げな顔の息子。そりゃそうだろう。男子が入るには場違いな可愛らしい店なのである。普段はコンビニぐらいでしか買い物をしない息子に、そんな勇気があったとは。

娘は、「ママ気に入ってくれるかなあ、ママの好きそうな色にしたんだけど」と百円ショップで買ったとおぼしきラッピング袋を渡してくれた。中身は、エプロン。私が欲しかったすっぽりかぶるタイプで、色は派手すぎないグレー、暖かいフリースである。スーパーの衣料品売り場で手頃な値段の物を探してくれたらしい。ありがたい。私の好みを熟知した選択、さすが娘である。

娘がくれたエプロンはその年の冬、毎日のように身に着けた。入浴剤のほうは、ラズベリー湯だけ息子が使いたいというので使った。「あの入浴剤いいね！」と自分の買い物にご満悦の様子であった。残り二つは飾り物のように洗面所の戸棚にしまっている。もったいなくて使えずにいるが、そうこうしているうちに次の誕生日が巡ってきそうである。

一口ばなし

浅野伸一 様



天に住んでいるお月様とお日様と雷様が、地球を旅したいと降りて来ました。夕方でしたのでホテルに一泊して明日旅をすることになりました。翌朝、雷様が起きて見ると、お月様とお日様がいません。ホテルの人に聞いたら、朝早く旅に出たそう。雷様は思いました。月日のたつのは早い！ところで、雷様は何時に旅に出るのですか。夕立にしよう！

五行歌

小林美智代さま

立つと見える世界
座らないと
見えない世界
やっと気付いた
世界さまざま

てるてる坊主をつるし
空を見上げていた
あの頃
降る雨は
やさしかった

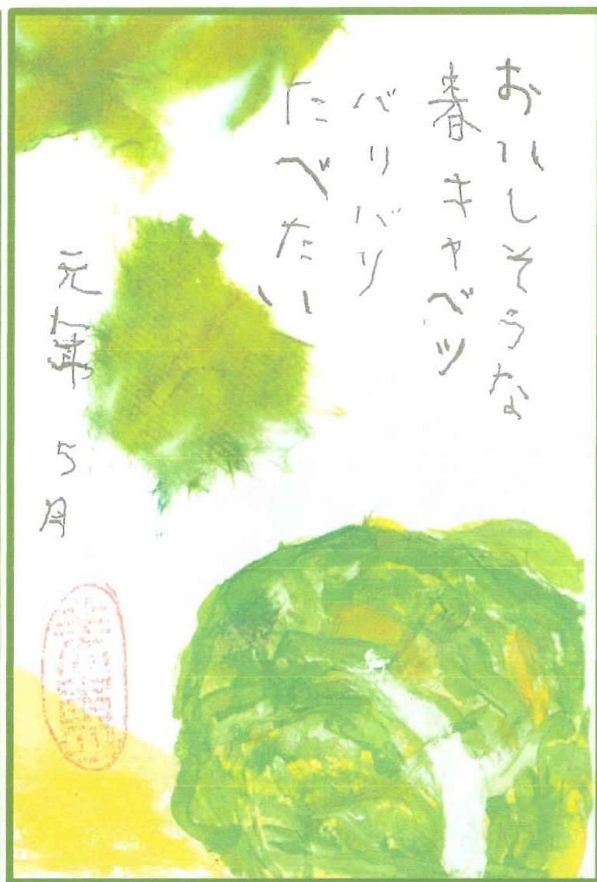
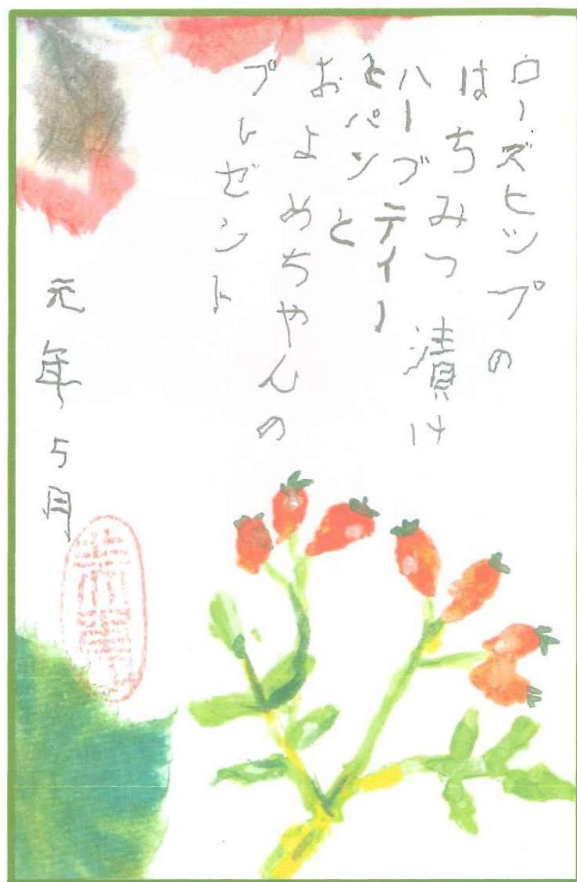


月と桜

S.S

みーこねーちゃんの絵手紙

佐藤美恵さま



佐藤様はH7年に脳梗塞で左半身麻痺となり、H24年より当院にて鍼治療を開始しました。加藤医師の勧めで始めた絵手紙。もともとは右利きですが、左の麻痺を克服するために、左手で書いています。それを北海道在住の妹さんに送ったところ、とても喜んでくださり、カレンダーにしてくださいました。(待合室のドアのところに飾っています)

《院長と共に癌の勉強会》 水上医師

6/2 (火) 15:00~16:00

「落ち込んででも治る！」



加藤医師よりお知らせ

2020年5月に「こもれびの診療所」を
下記住所に開院致しました。

今後ともどうぞよろしくお願い致します

〒116-0003 東京都荒川区南千住 5-21-7-2F

旧 日下診療所

TEL 03 (6806) 5457 FAX 03 (6806) 5758

<https://komorebi-shinryojo.com/>



クリニックより診療時間短縮のご案内

4月より、新型コロナウイルス対策のため当面の間
平日は9時30分から16時30分までとさせていただきます
日曜日の診療時間の変更はございません
ご理解とご協力をお願い申し上げます。

☆今月のお花☆ 雪柳・カランコエ・トロピックバタフライ



4月は時間が止まったようでしたね。でも自然はいつもと変わりなく、花は咲き、新緑は美しく、小鳥はさえずり、安心しました。

今月のお花は、枝物は雪柳、オレンジ色の花はカランコエ、ピンクの花はトロピックバタフライ。バタフライ?と思ったけれど、こうして写真をよく見ると、まるで蝶が飛んでいるかのように見えます。なんて可愛いお花なのでしょう。

この花はカーネーションの一種で、華奢な感じがしますが、花持ちもよく結構遅いお花です。カーネーションと言えば母の日。こんなカーネーションをプレゼントするのもいいですね。

花言葉は「あたたかい心」「愛を信じる」

M.I

★「希望を語る」は患者さまの体験談や、また特技を生かしたメッセージ、いま語りたい事、その他何でも、情報交換の場を提供させていただく冊子です。写真や原稿などございましたら、どうぞ事務所またはスタッフまでお知らせください。お待ちしております。